

2019.3.23 小粒でピリリと辛かった山旅、モーラップ山

CF 相馬、A 班 L 藤木、SL 長沼、藤木た、小笠原、八重樫、笹山、増川、門馬、太田、B 班 L 山岸、SL 渡邊、西田夫妻、及川、津川、河村、荒谷、伊藤 天候：晴れくもり、気温：0℃前後 距離 4.1Km

昭和から平成の初め、大勢のスキー客でにぎわった支笏湖畔の山。リフトが止まって 25 年。自然に還りつつある山で、上級者コースに果敢にアタック。

8:58 初体操リーダーO 女の初々しい号令の下、体を温める。

9:05 出発、細い木ばかりの若い林を抜ける。ここがスキー場だったとは面影なし。

9:36 上級コースを直登する。転げ落ちそう。アイゼンワーク一歩一歩確かめながら。

リーダーS 氏は青年の頃に通い詰め、J 子さんも「50 年前にここで滑ったの〜」。

10:00 急登終えコルに到着、支笏湖を見下ろす。大休止。

10:15 ここからはなだらか。鹿に食べつくされて葉っぱのなくなった笹やぶと鹿糞を超えて。

10:30 平べったい山頂にとうちゃこ。

10:50 下山開始。またも急斜面ずぼずぼ埋まり体力使う〜。下りの方が大変。とても非日常。

45 分で林道まで降りる。低山と侮るなかれ、思いの外の登りごたえでした。

モラップ山（ピスンモラップ：浜手の小さな低いもの）から、キムン（山手の）モラップ山へ向かう。途中野鳥観察小屋で鳥の声を聴きながらランチタイム。時間切れ撤収決定、車に戻るとこの森の主クマゲラがお出迎え。すぐに森の奥へ飛んでいった。一同大満足。次来た時もまた姿を見せてね、クマゲラ君。

